

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成25年9月12日 (2013.9.12)

【公開番号】特開2012-40094(P2012-40094A)

【公開日】平成24年3月1日 (2012.3.1)

【年通号数】公開・登録公報2012-009

【出願番号】特願2010-182359(P2010-182359)

【国際特許分類】

A 6 1 B 5/05 (2006.01)

A 6 1 B 5/107 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 5/05 B

A 6 1 B 5/10 3 0 0 B

【手続補正書】

【提出日】平成25年8月7日 (2013.8.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 2 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 2 4】

一方、胸部縦幅は、可動部 1 0 2 が移動する間に出力される測距センサ S A 1 , S A 2 の出力 O 1 , O 2 と、可動部 1 0 2 が移動する間に出力される移動量検出センサの出力 O 3 とから算出される。図 1 0 に示すように、可動部 1 0 2 は、下方に押し下げられることで被験者 3 0 0 の胸部 3 0 1 の上端が位置する高さを通過することになるため、その際の測距センサ S A 1 , S A 2 の出力 O 1 , O 2 に図 1 3 に示すような特徴点（具体的には、出力 O 1 , O 2 が極端に減少する点）が現れる。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 8 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 8 1】

胸部横幅は、可動部 2 0 2 a , 2 0 2 b が移動する間に出力される測距センサ S A 1 , S A 2 の出力から算出される。図 2 0 ないし図 2 2 に示すように、測距センサ S A 1 , S A 2 が被験者 3 0 0 の胸部 3 0 1 の左右に位置した状態においては、測距センサ S A 1 , S A 2 から出射された光は、それぞれ被験者 3 0 0 の胸部 3 0 1 の右側面および左側面に照射されることになる。そのため、可動部 2 0 2 a , 2 0 2 b が移動する間に出力される測距センサ S A 1 , S A 2 の出力は、測距センサ S A 1 , S A 2 から被験者 3 0 0 の胸部 3 0 1 までの水平方向の距離に応じた出力となる。